

7月30日全国高等学校家庭クラブ研究発表大会の準備が会場でも始まりました。生活科学科3年生にとっては集大成の時がやって



てきました。最初に各部会の先生方が、挨拶され(1)、各部での打ち合わせ(2)、そしてステージでは小ホールで役員会、大ホールで開会式のリハーサルが行われました(3)。この日は表彰式まで立ち位置や所作の確認を生徒だけで綿密に行いました(5)。展示室の方では本校の販売ブースの準備が整い(4)、明日商品を並べれば準備完了だそうです。この日は最後に家庭クラブの歌を全体練習。指揮者坂本さん、伴奏竹内さんです。声が小さいのと歌詞を覚えていない生徒もいてどうなるかと思われましたが、マイクで声を拾うことで何とか解決(6)。1日目の準備を終了しました。

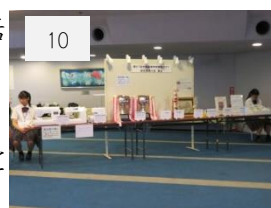


7月31日は、発表校や視察の方々が来られ、午後からは連盟本部の方も来られてのリハーサルですから午前中が準備確認の勝負どころです。朝早くから打ち合わせを重ね、研究発表校や県外からの会員、顧問の受け入れに対応していかなければなりません(7.8)。全国家庭クラブ連盟成人会長、副会長も到着され、私が展示室の方へご案内すると本校ブース前で生徒達と話をされました。「なぜ桃のカレーなのですか？」の問いに私は社特産の桃を使用しているのという回答しかできなかったのですが、生徒達は「周りの地域でカレーを作っていないのは、加東市だけ」ということで特産の桃を使用して先輩が作ったと聞いています。」と回答。私自身も「そうだったのか。聞いておけばよかった。」と反省することしきりでした。同時に生徒達が先輩たちから引き継がれているものがあるというのも実感でき、嬉しく思いました(9)。その他大ホールロビーでは表彰式で手渡される副賞の商品を並べて展示(10)、研究発表校はリハーサルとともにポスター展示の準備に追われているようでした(11)。この日のリハーサルでは、連盟本部からの指摘もあり、所作の統一等、いくつかの修正が加えられ、本番を待つのみとなりました。また、この日夜は文部科学省調査官、連盟本部の方々、開催地(前・次期・次々期)の方々とも交流を深める時間を持ち、情報交換を行いました。

8月1日。いよいよ本番です。役員会と開会式に向けて全国各地から会員、顧問の方々が来られます。受付は朝早くから大混雑(12)。本校生徒だけでなく県下各地から集まったクラブ員がそれぞれの割り



り当てのところで笑顔と意思をつなぐために動き出してくれています。そして役員会が小ホールで始まりました。司会は本校の北藤さん、寺尾さんです(13)。実行委員長挨拶で、私は阪神淡路大震災当時の話をさせていただきました。避難所で経験した「衣食住の大切さ、当たり前の生活ができる喜び、支えあうことの大切さ、感謝の気持ちを忘れない」ということを伝え、行動に移すことを考えた時、家庭クラブの活動そのものであると感じたので、今後の家庭クラブ活動への期待と結び付けて話をさせていただきました(14)。その後、議長に本校の築澤さんが選出されました(15)。議事進行が進み、本大会生徒委員長の北岡さんが新役員の方の提案をしました(16)。すべての議事が滞りなく終了。役員会は終了しました。開会式までには時間があつたので早めの昼食を

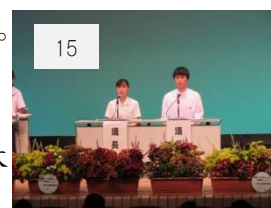
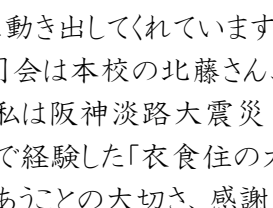


8月1日。いよいよ本番です。役員会と開会式に向けて全国各地から会員、顧問の方々が来られます。受付は朝早くから大混雑(12)。本校生徒だけでなく県下各地から集まったクラブ員がそれぞれの割り



り当てのところで笑顔と意思をつなぐために動き出してくれています。そして役員会が小ホールで始まりました。司会は本校の北藤さん、寺尾さんです(13)。実行委員長挨拶で、私は阪神淡路大震災当時の話をさせていただきました。避難所で経験した「衣食住の大切さ、当たり前の生活ができる喜び、支えあうことの大切さ、感謝の気持ちを忘れない」ということを伝え、行動に移すことを考えた時、家庭クラブの活動そのものであると感じたので、今後の家庭クラブ活動への期待と結び付けて話をさせていただきました(14)。その後、議長に本校の築澤さんが選出されました(15)。議事進行が進み、本大会生徒委員長の北岡さんが新役員の方の提案をしました(16)。すべての議事が滞りなく終了。役員会は終了しました。開会式までには時間があつたので早めの昼食を

8月1日。いよいよ本番です。役員会と開会式に向けて全国各地から会員、顧問の方々が来られます。受付は朝早くから大混雑(12)。本校生徒だけでなく県下各地から集まったクラブ員がそれぞれの割り



り当てのところで笑顔と意思をつなぐために動き出してくれています。そして役員会が小ホールで始まりました。司会は本校の北藤さん、寺尾さんです(13)。実行委員長挨拶で、私は阪神淡路大震災当時の話をさせていただきました。避難所で経験した「衣食住の大切さ、当たり前の生活ができる喜び、支えあうことの大切さ、感謝の気持ちを忘れない」ということを伝え、行動に移すことを考えた時、家庭クラブの活動そのものであると感じたので、今後の家庭クラブ活動への期待と結び付けて話をさせていただきました(14)。その後、議長に本校の築澤さんが選出されました(15)。議事進行が進み、本大会生徒委員長の北岡さんが新役員の方の提案をしました(16)。すべての議事が滞りなく終了。役員会は終了しました。開会式までには時間があつたので早めの昼食を



とり展示室を見に行くと弁当係のところは混雑しかけ(17)、本校販売ブースも人だかりが出来始めていました(18)。県内高校生の商品化された物品の陳列棚も注目を集めていました(19)。販売も好調だったようです。



そして、高砂高校ジャズバンド部のオープニング演奏が始まりました。聞きなれた曲目を選んで演奏していただいたので、楽しく大会の盛り上げに一役買っていただきました(20)。ありがとうございました。

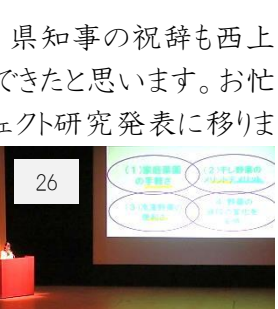
開会式が始まりました。北岡さんが開会挨拶を立派に果たしてくれました(21)。国歌斉唱の後の家庭クラブの歌では本校の坂本さんが指揮、竹内さんが伴奏と頑張ってくれました。姫路聴覚特別支援学校と香寺高校の生徒が手話で歌詞を伝えてくれました(22)。



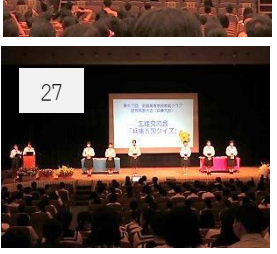
練習の甲斐あって会場全体で大きな声が響き渡りました。直後に実行委員長挨拶です。役員会の挨拶を少し縮め、それでも震災からの復興を伝えたいとの思いを込めて話をしました(23)。



共催者挨拶では昨日海外出張から帰国されたばかりの西上教育長が挨拶をされました(24)。来賓祝辞での文部科学省塩川参事官の祝辞の後、県知事の祝辞も西上教育長に代読していただき、兵庫県、兵庫県教育委員会あげての大会ということもPRできたと思います。お忙しい中、本当にありがとうございました。式典は、順調に進み、無事終了。ホームプロジェクト研究発表に移りました。ホームプロジェクト研究発表は本当に個人が家庭での課題意識を持って取り組んだことを発表するので、家族構成や職業など結構突っ込んだ内容でしたが、発表者の思いと工夫が伝わってきてなかなか面白かったです(25・26)。



1日目最終のイベントは生徒交流会。小ホールでの開催に超満員の大盛況ぶりでした。八鹿高校の生徒を中心に問題を考えられ、兵庫五国クイズを実施。手製の記入用紙でピング形式に正解を記入していくようにしており、他県から来られた生徒達も兵庫の理解を進めてくれたものと思います(27・28)。そして表彰式のリハーサルに向かうと、舞台裏でも活躍する本校生の姿がありました。舞台転換の度に椅子や机を出し入れたり、座席の名前を張り替えたりと大忙しで作業してくれていました(29)。



他にも目に見えないところで県下の高校生が協力し合って大会を支えています。本当にありがとうございます。最後は最終日のアトラクションのリハーサルです。西脇高校を中心とした県下7校の生徒が出演してのファッションショーです。本校生徒も9名参加。多い人では4回ほど着替えていたのでしょうか(30・31)。明日が楽しみです。



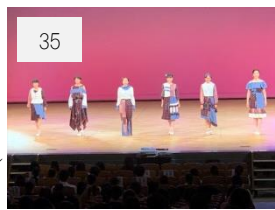
8月2日。この日は総会から始まります(32)。昨日の役員会の報告が行われ議事の進行が滞りなく進み無事終了。学校家庭クラブ活動研究発表に移りました(33)。学校毎の取組にはやはり地域の協力は欠かせません。防災、保育、地域振興に係る商品開発等、各学校本当に様々な取組をしているの



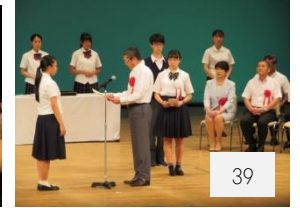
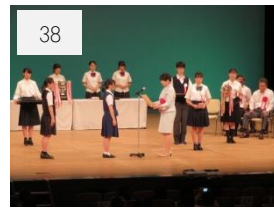


が良く伝わってきました。昨日のホームプロジェクト研究発表の時もそうでしたが、手話通訳の方が常時、発表を手話で伝えてくれていました(34)。暑い中、本当にありがたいことでした。

午後最初はファッションショーからです。昭和、平成、令和、未来へとその時代を表現した服や各県のイメージを表した洋服を身にまとってのショーです。普段は見られない生き生きとした表情で堂々と歩く姿に感動しました。各学校の準備だけでなく、こういったショーの準備もしていたとは頭が下がる思いです。楽しませていただきありがとうございました(35・36・37)。



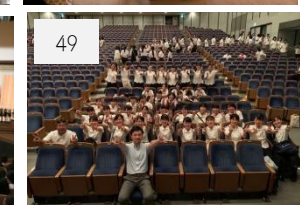
キックオフスカラシップ留学制度を利用して海外研修に行った生徒の報告があり、文部科学省市毛調査官から研究発表に対する講評があった後、審査委員長から審査結果の発表がありました。表彰式では文部科学大臣賞を市毛調査官が(38)、県教育委員会賞は、西田教育次長が手渡されました(39)。他にも連盟賞など多数の表彰があり、無事に表彰式も終了することができました。この大会において県教育委員会からは西上教育長、西田教育次長、和泉教育次長(教育懇談会に出席いただきました)の三役をはじめ、高校教育課から西田課長、大角副課長にお越しいただくなど公務ご多用の中、ご出席いただきましたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。



最後は、連盟旗の引継ぎです。北岡大会生徒委員長から次期開催県の富山県の生徒に渡されました(40)。その後富山県の紹介があり(41)、北岡生徒委員長が閉会挨拶(42)。大きなプレッシャーの中、よく頑張りました。お疲れ様でした。終了後はお見送りです。ファッションショーに出た生徒はその衣装のままロビーで待機して、他県の方々を見送りました。本校のファッションショー出演者です(43.43.45)。県下の高校生全員で最後の最後までつまみ細工のお土産を配りながら笑顔で見送ってくれました(46・47)。



準備を含めた4日間の大会が終了しました。撤収作業も手際よく終了。最後に大ホールに集まって解散式を行いました。そこでは、実行委員長の私、北岡大会生徒委員長、徳平事務局長が挨拶に立ち、感謝の気持ちを伝えました。皆さん本当にありがとうございました(48)。そして生活科学科の3年生も本当にお疲れ様でした。ここでの経験は大きな自信につながると思いますし、全国大会成功に一役買ったことに誇りを持って今後の生活に活かしてほしいと思います(49)。担任の富澤先生をはじめ、徳平事務局長、真鍋先生、安好先生、野村先生本当にありがとうございました。大会は大成功に終わりました。社高校を含めた学校関係者の皆様、ご協力本当にありがとうございました。



大会期間中には、体育科のオープンハイスクールがあり、82名の中学生が来てくれたようです。また、書道部の団扇に関する取材記事が神戸新聞に掲載されていました(50)。8月3日に開催された国際ソロプチミスト北播磨主催の「さかなクンのギョギョッとびっくりおさかな教室」にSクラブの関係で行かせていただきました(51)。話のスピードとパフォーマンスに圧倒されながらも魚に関する軽快な講演を聞き、驚かされるとともに強みを持つことは大事だと改めて感じてきた次第です。

